

文化庁×群馬大学共同研究プロジェクト
文化芸術による社会包摂の
評価手法・ガイドライン構
築の事例研究
「特別養護老人ホーム・
えいめい×石坂亥士
×山賀さくらWS」
ワークショップ



キックオフ・シンポジウム

「音でさわる，目で踊る」

えいめいにおける音と身体のワーク
ショップは，介護の現場に何をもち
たらすのか！



2018年

3月9日（金）

17:30～20:00

※17:15 受付開始

前橋市中央公民館

505 学習室

定員：30名（先着順）

福祉分野にアートの活動を導入したいという方、福祉の現場で活動
をしてみたいと考えているアート関係者の方、行政担当者の方も、
お気軽にご参加下さい。

参加無料

お問合せ先：NPO 法人
まえばしプロジェクト
mail:maebashi.project@
gmail.com（木村）

※事前予約も受け付けます
のでお問い合わせ
ください。

主催：文化庁地域文化創生本部
群馬大学

運営：群馬大学教育学部茂木一司研究室

事業協力：アーツ前橋・ケイスリー株式会社・NPO 法人まえばしプロジェクト・石幡愛・熊谷薫・高橋かおり、ほか



文化芸術による社会包摂の評価手法・ガイドライン構築の事例研究

近年、様々なアーティストが高齢者施設などに赴き、表現活動を行うことが増えてきました。

一方で、そこで生み出される価値が福祉と表現の現場で十分に共有されているとは言い難い状況です。

そのため、今回はアーツ前橋が実施した「表現の森 協働としてのアート」(2016.7.22～9.25)に参加し、現在も継続している「石坂亥士(神楽太鼓奏者)・山賀ざくろ(ダンサー)×特別養護老人ホームえいめい」企画を事例研究に、そこで生まれた社会的価値を抽出するためのプレリサーチを実施しました。

本シンポジウムでは、プレリサーチで作成した「ロジックモデル」という概略図を紹介します。社会的インパクト評価の方法論を用いて作成した本概略図から、事業が現場にもたらした変化を説明することを試みます。さらに、えいめいWSの報告、登壇者と参加者の意見交換WSを通してこの事業に関わる様々な立場の人たちに何が起きたのかを明らかにしていきます。

■タイムテーブル

17:30～17:40 挨拶・主旨説明(茂木一司ほか)

17:40～18:00 表現の森・えいめいWS概要説明／映像上映(今井朋・岡安賢一)

18:00～18:20 プロジェクト・リサーチ報告(熊谷薫・石幡愛・高橋かおり・*落合千華)

18:40～19:10 座談会「えいめいで起こったこと…それぞれの視点から」

(湯澤文昭：清水の会施設長・石坂亥士・山賀ざくろ・木村祐子・熊谷薫・茂木一司)

19:10～20:00 意見交換ワークショップ

※講師・タイムテーブルは変更することがあります。

「文化芸術による社会包摂は可能なのでしょうか？」

高齢者施設でのWSから考えます。神楽太鼓の石坂亥士とダンサーの山賀ざくろは、音や身体表現の即興ワークショップを通じて、特別養護老人ホームの普段はあまり反応がない高齢者と向き合いました。石坂は、アーティストの感覚で、彼／彼女らには「独自の時間が流れている」といいます。ことばはないので、明確には判断(評価)できませんが、この中でおきている出来事は確かに「協働」です。存在が存在と呼吸し、呼応しているのです。

介護する／されるという一方でない関係性がアートによってつくられています。これを「文化芸術による社会包摂」と呼んでいいのでしょうか？

お年寄りたちはわたしたちに包摂されているわけではありません。わたしたちもまた、彼／彼女らの愛によってつつみこまれているという実感があるの です。

★プロジェクトコーディネータからのメッセージ★

主催 : 文化庁地域文化創生本部
群馬大学

運営 : 群馬大学教育学部茂木一司研究室

事業協力: アーツ前橋・*ケイスリー株式会社・
NPO 法人まえばしプロジェクト・石幡愛・
熊谷薫・高橋かおり、ほか



●前橋市中央公民館へのアクセス (前橋プラザ元気21・5F)

最寄り駅からの時間: JR前橋駅北口より徒歩10分
上毛電鉄 中央前橋駅より徒歩5分
路線バス: 1～3、5番のりばから路線バス「本町」下車、
徒歩約2分
市内循環バス(マイバス)
3番のりばからマイバス南循環27「坂下」下車、徒歩約2分
3番のりばからマイバス共通2「元気21北」下車、徒歩約2分
自動車: 関越自動車道 前橋ICから約15分

◎駐車場案内

前橋プラザ元気21駐車場・前橋中央駐車場・
市営パーク五番街・市営パーク千代田・市営パーク城東
※駐車場は周辺道路を含め大変混雑する場合があります。
なるべく公共交通機関のご利用をお願い致します。